



—できることから少しずつ“コツコツ”がんばってます—

里山に住む水と森の妖精。
「はすみん」です。

羽須美地域の暮らしに関するアンケート、ご協力ありがとうございました。
アンケート結果の概要のご報告と、今後の取組の方向性をまとめてみます。



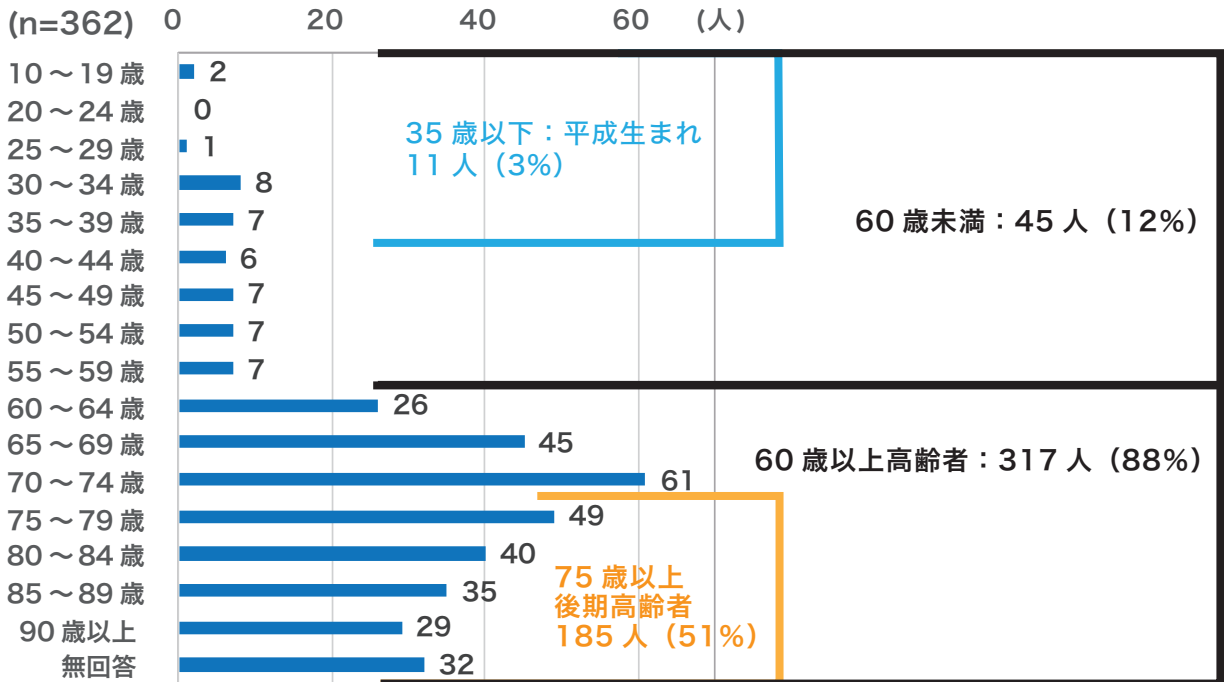
アンケート調査の分析結果概要：今後の取組で重要なポイントは？！

☑️「小さな拠点づくり」という取り組みの認知や興味が広がっていない。

★ 回答数が2020年度に比べて40%減少

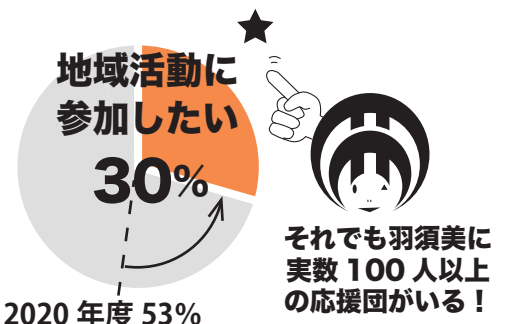
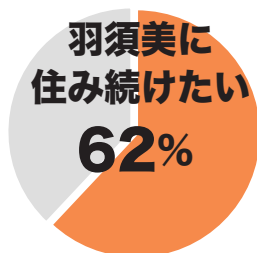
有効回答数：362 (回答率：32.0%) ⇒ 2020年度調査は558

★ 回答者の88%が60歳以上 (子育て世代への興味が広がってない)



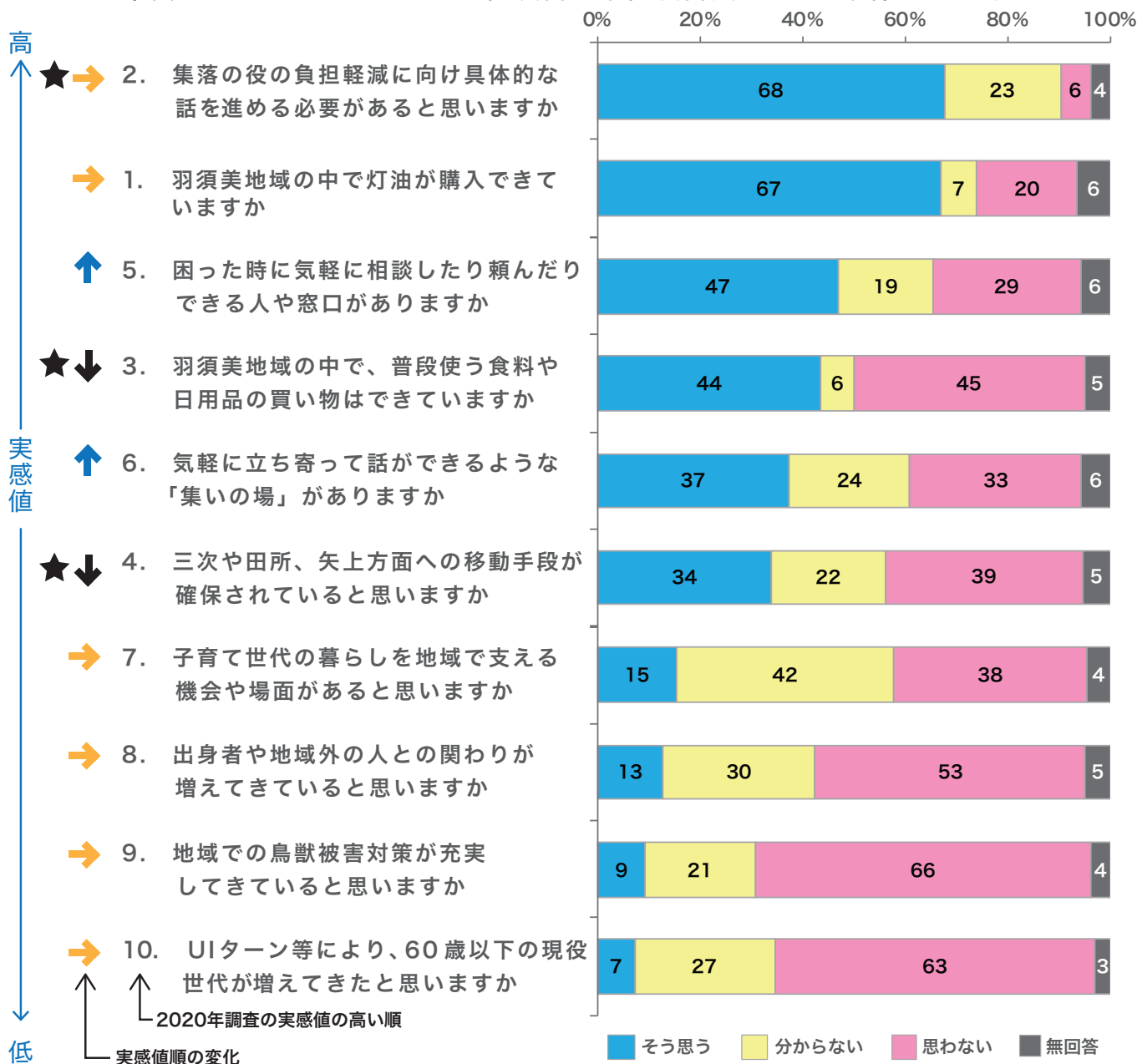
☑️「はすみでの暮らしの満足度」は総合的に高いが、

「地域活動に参加したい」(自治会や、あすな地区応援隊、口羽をてごおする会など) という取り組みへの参加意向は大幅に減少しました。



「羽須美地域の暮らしに対する現状認識」は、

2020年度のアンケートと比べて上位項目、下位項目共に大きな変化はない。



「困ったときに頼ったり相談できる人や窓口がある」「気軽に立ち寄れる集いの場がある」については、「そう思う」という回答が増加傾向にあり、あすな地区応援隊、口羽をてごおする会を中心に、両地区とも、高齢者サロンや生活支援の充実化に取り組んでいる効果が少しずつ地域の方々にも評価されはじめていると思われる。



これからの「はすみ地域での取り組みのポイントは？」 → ★

- 1 | 取り組みの必要性が高い項目を絞り込みながら残りの2年を展開する
- 2 | 子どもや若者、子育て世代も関わりやすく楽しみながら参加できる取り組みにする
- 3 | 取り組みへの「興味・関心」をひろげる → 集まって話す場づくり、広報の方法を変える。

一緒に活動に取り組んでくれる仲間を増やしていきましょう！

アンケートに回答できなかったけど、「ひとこと言いたい！」
若者や子育て世代からも「実はこんなことがしたい・してほしい！」
など、「意見箱」サイトをつくりましたので是非ご意見聞かせて下さい！

